

# 議員定数等に関するアンケート結果

## アンケート概要

目的：議員定数、議員報酬、政務活動費について、市民の意見を聴取する

対象：垂水市民、垂水市にゆかりのある市外在住の方

期間：令和7年12月16日～令和8年1月31日

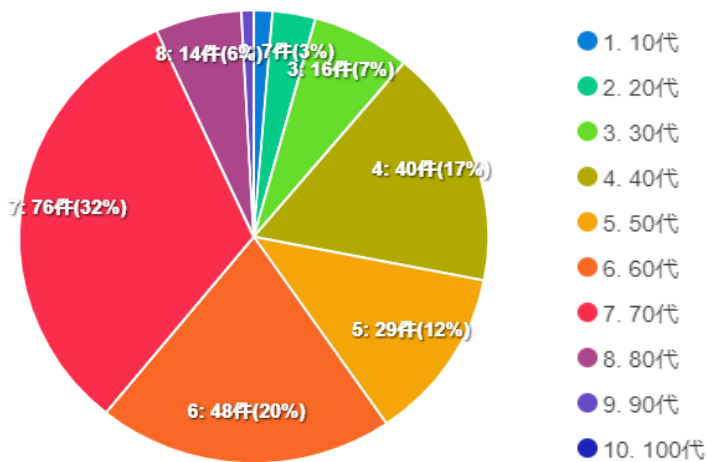
回答方法：WEB回答、お知り合いの市議にお渡し、市役所、各地区公民館の回収箱へ投函

※意見や要望については、原文のとおり記載しております。

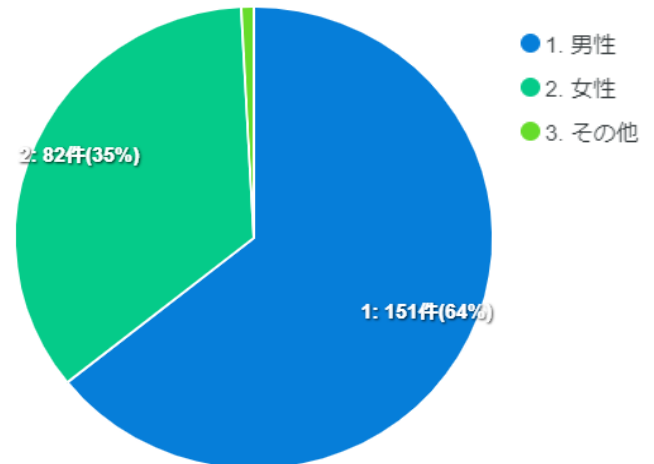
## 集計結果

回答数：235人（WEB117人、紙118人）

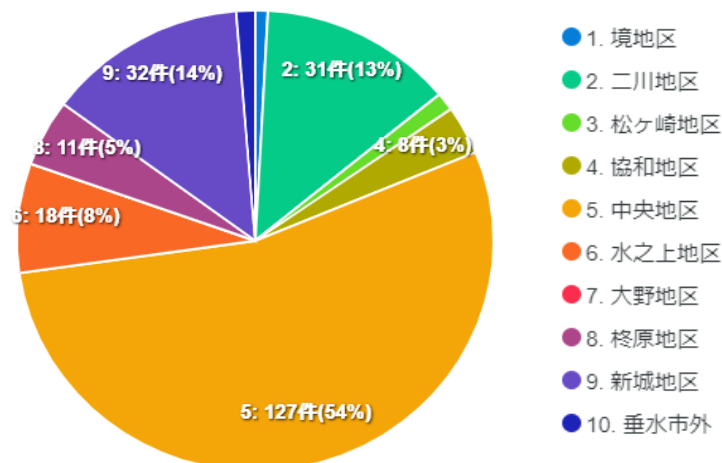
### 質問1 年齢



### 質問2 性別

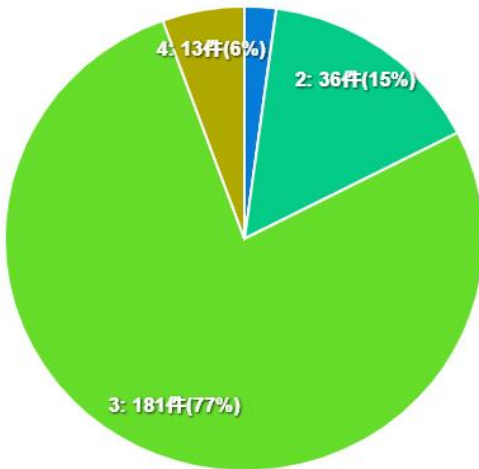


### 質問3 居住地域



## 質問4 議員定数

- 1. 増やした方が良い
- 2. 現状維持
- 3. 減らした方が良い
- 4. 分からない



## ☆議員定数に関する意見☆

- ・人口に合わせて
- ・若い人たちにシフトして欲しい。ながくても五期くらいで引退制にして欲しい
- ・人口を考えたら多いと思う
- ・名ばかりの議員が多いため
- ・議員としてきちんと活動されている方もいれば、何をしているかわからない方もいるので地区の意見を拾い上げにくくなる
- ・人口比に対して多すぎる
- ・議長を除いて9名でも審議できるのではないかと思います。また、各委員も5名程度の構成でも問題ないかと思います。議員報酬等の予算はそのままにして、一人あたりの報酬を上げてもいいと思います。
- ・鹿児島県内の市の中で本市より人口の多い枕崎市の定員12名であること、人口規模が同じくらいの大崎町の定員が12名であること
- ・人口減、財政、時代の流れ
- ・人口規模に応じた定数
- ・垂水市の人口に対して多すぎると思う。また、議員の活動をしてるかよくわからない、議会などをきいてもどうでもいいことを聞いてただ質問してるだけみたいだ、それなら議員の数を減らして議員報酬を増額しようがよいと思う。
- ・人口もへってきているので中央地区は複数名で他の小学校区に1名くらいでよいと思う。

## ☆議員定数に関する意見☆(続き)

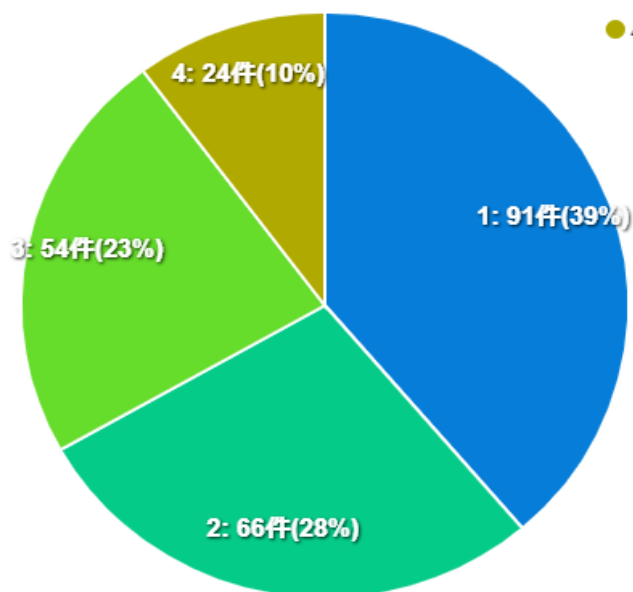
- ・一般質問しない議員、寝ている議員、活動実態が見えてこない議員、与党なのか野党なのかわからない議員、野焼きする議員など、市民の血税を無駄にしている議員が多すぎる。出来レースだけの市議会(一般質問答弁)もいない。
- ・これ以上減ると議員がいない地域がでていのに更に中央の声だけを拾う議員だけになる可能性が高い。
- ・小規模自治体では人口1000人あたり議員1人前後が目安だから。公民館が9か所あります。中央地区を4人とし、他8か所は2人ずつ、各地区で議員が切磋琢磨するよう、1人では議員席に安心している。
- ・垂水の人口は減ってます。地域に合った人材で。
- ・多くても10名。定数を減らし、議員1名当たりの報酬を増額し、意欲ある議員の選出を望む。
- ・近隣他市と比べて人口に対する議員数が多すぎる。
- ・人口も減少しているので、人口合わせて減らすべきだと思います。
- ・正直議員が何をしているかわかりません。
- ・各地区に一人ずついれればいいと思う。
- ・市の規模を考えると8名が妥当だと思います。
- ・議員は地区住民の代弁者としての面があるので、やみくもに定員を減らすべきではないと思います。
- ・議員2名不在でも機能している現状を考えると議員定数は2割程度削減可能では。その分報酬を増額してなりたい人を増やしては
- ・市の財政状況や人口に応じた人数でよいと考えるから。
- ・単純に多すぎて、質が悪いため。
- ・同規模の肝付町や枕崎市が12名に削減しているから。
- ・人口減少、自前財源が乏しい、使い方の透明、領収添付等遵守
- ・人口に対して多すぎる、議員の質が良くない。
- ・現状の定員数を減らせば各地区の意見反映できない
- ・現在2名不在で問題なく議会運営できているような気がする。また、熱心に議員活動している方、していない方の差が激しいような気がする。もっと全員がSNS等を活用して議員活動をアピールしたらいいと思うが。
- ・そもそも14人もおぼえていない。
- ・9地区と議長で10あればいいと考えました。
- ・あまりにも多すぎる。市会議員選挙の広報誌を見るたびにこんなのがほぼ全員議員になるのかと疑問しかない。そもそも高齢の方と話をすると、誰がどんな取り組みをしているかなど興味も関心もなく、ただただ知人に頼まれたからとぼんやり投票している。終わってる。

## ☆議員定数に関する意見☆(続き)

- ・各地区に議員がいなければならないと思う。高齢者になれば移動手段も限られてくるので声が届きにくいから、何もしない人は議員を途中でやめさせてもいい。(17人がいいという方)
- ・幅広い意見が必要
- ・現状問題はないように感じたから
- ・人口は減る傾向にあり、議員の活動が分からない。
- ・小さい町のわりに多すぎる。あと、年齢制限を考えて欲しい。
- ・現状でよい
- ・人口も減少しており議員を多く抱える意味がわからない。
- ・減らした方がよい人口が少なくなる一方です
- ・各地区担当議員を決めてもらえたら地区に議員がいないところの人も相談できる人がいたら話をしやすくなるかもしれない
- ・10名くらいでいいと思う
- ・定数が少なければ良いというものではないとおもいます。予算も都合もありますが、市の人口を考えて、この人数で
- ・現在2名不在それでも成り立っている、将来人口減がわかっているのに今のままでは垂水の全体人口に対して14名は多い
- ・次回は13名に、その次は12名
- ・定数は人口1000人に1人でよい
- ・人口減が加速しているので減らした方がよい、調査研究は報酬の中ですべき、議員は地域課題解決や良い政策提案を行うことが当たり前で政務活動費は必要ない
- ・減らす、人数が多いと決められるものが、決められなくなる、議員数を減らしてその分、働きがいがあるように報酬を増加して頑張ってもらおう
- ・人数に関係なく各地区1名にしたらよい、その校区のことをよく知っていて、話しやすい議員が多い。
- ・地区割、牛根2海瀉2中央3水の上1柵原1新城1目安、定年制75歳、5期20年まで、若い人材に道を譲り議会の刷新と活性化を推進して欲しい。
- ・減らした方がよい、振興会でまにあっている

## 質問5 議員報酬

- 1. 増やした方が良い
- 2. 現状維持
- 3. 減らした方が良い
- 4. 分からない



## ☆議員報酬に関する意見☆

- ・パワーのある人に議員になってもらうためにはある程度の報酬が必要
- ・報酬を引き上げて多くの人に議員を目指せるようにすべき
- ・給料が少ないから、副業になるわけで、議員だけの仕事するならこのくらいじゃないかな。入院、欠席、活動をしてなくても支払われてる、税金からの支払いですよね。
- ・あまり議員活動をしていない。
- ・なにもしないのに報酬だけもらっているから
- ・地域の平均以下でよい
- ・定員を減らす代わりに報酬を上げれば、若い人からの議員に対する魅力も変わると思う。
- ・議員活動に専念できるくらいの報酬があった方が良くと思います。市民の関心も深まると思います。
- ・新規採用の市職員より働いていないのに、新規採用職員より報酬もらっているのは納得いかないから。
- ・増額し、人数を大幅に減らしてほしい。
- ・議員担い手確保のため。
- ・議員になりたい人がこれるように
- ・質問が悪い、同じ人口規模の自治体の議員がいくらもらっているのかわからない。議員たちが増やせと言っているのかと疑ってしまう。定数を減らしたうえで、適正な報酬額なのであればだれも文句は言わないと思う。
- ・生活するにはこれくらいは必要になるのでは。(30万円)

## ☆議員報酬に関する意見☆(続き)

- ・兼業の方が多いため、副業せずに議員のみで活動されるなら30万以上あってもよいと思う。
- ・報酬は議員活動の対価であるべき。議員が報酬に見合う活動ができているか常に自身に問うことが出来る。
- ・人口も減り、いろんな店舗も撤去、課題はやまずみだと思います。垂水市地域のために頑張られる方に比例する報酬であってほしいです。
- ・兼業議員が当たり前で、真に市政に向き合う議員に担ってほしい(35)
- ・議員数が10名程度に減るならば、30万円くらいは良いと思うが、中途半端に12名とかなら現状維持でよいとおもう。
- ・議員の仕事だけでなく、別で仕事をしている人もいます
- ・定数を10人くらいに減らすなら30万くらいはいいと思う
- ・良い人材確保
- ・意欲ある若い人、子育て世代等がそれなりの生活ができて立候補できる報酬であることが必要だから
- ・もっと議員が何をしているかわかれば増やしてもいいと思う
- ・議員報酬だけで生活が出来るレベルであってほしいと思います。
- ・農商工業等を主従問わず兼業されている議員も多いかと思いますが、議員として専業ができるだけの最低限の報酬までは引き上げた方がよいと思います。
- ・議員2名不在でも機能している現状を考えると議員定数は2割程度削減可能その分報酬を増額してなりたい人を増やしては
- ・現状維持で良いと考える
- ・増やした方がよい
- ・報酬が少なければ議員に立候補したいと思う人が減ってしまうので下げるべきではないと考える。職業として活動できる報酬が必要。物価高騰の影響を加味して報酬を上げるべきだと思う。
- ・現在の議員報酬で生活することは難しい。もっと若い世代が立候補できるような報酬額に
- ・財源、勤務時間で現状維持
- ・議員のみで生きていくのであれば増やしてもいいと思うが
- ・自営業や副業により別の収益がある場合は、減らしても良いと思う。議員活動に専念する環境をどう考えるかが重要に感じます。
- ・もらい過ぎである。
- ・垂水市の議員は大した仕事をしていない。
- ・世の中の賃金アップの流れに遅れているが、財政を考えると30万円が妥当な金額ではないかと考えます。

## ☆議員報酬に関する意見☆(続き)

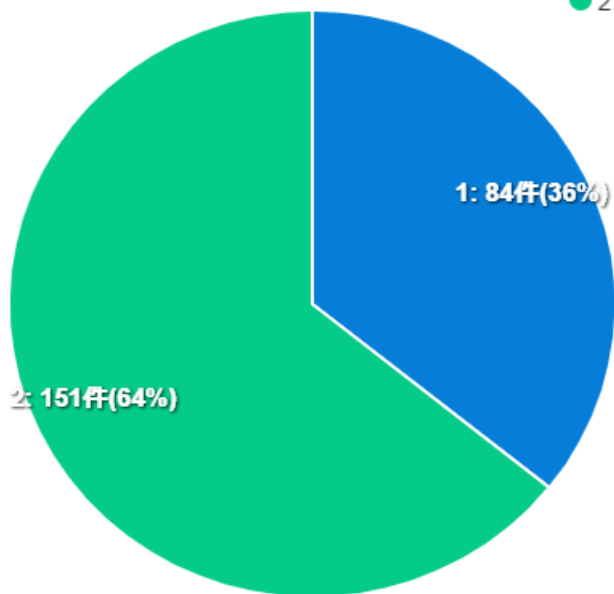
- ・定数を減らし報酬を増やすことにより議員活動をしっかりとやってもらいたい。
  - ・近年の物価高騰や賃金引き上げもあり、また更なるモチベーションも繋がると思うので議員報酬を上げた方がいいと思う。
  - ・議員定数を減らしてもっと熱心に議員活動をするのであれば26万は低そうなきがする。これから若手の議員を増やしたいのであれば10万程度増やして議員のみの収入で生活できるようにした方が良く考える。
  - ・これからの垂水を考えて議員になりたい人が増えるようにするため。
- 議会以外での議員の仕事ぶりを知らないなので、高いか安いかが判断できない。よって現状維持
- ・しっかりと活動していただくためには収入の保障も必要である。
  - ・垂水市にお金がないので(20万)
  - ・増やしたら金目当ての連中がさわぐ、現職が利権で味方を引き込もうとする可能性もある。ただ議員定数を大幅に減らして、まともな人間の少数精鋭なら人数を削減した分一人当たりの報酬は上がっても良いと思う。
  - ・若い世代の人たちが議員に立候補するために。議員報酬で生活できるようにした方が良く思う。
  - ・少なからず多からずの金額20万
  - ・なんとなく20万
  - ・議員活動に専念できる報酬がないと新たに議員になりたい若者が出てこない。
- 報酬は物価高にに応じてふやさないと立候補したいけど生活できないことがあれば犯罪が起こるかもしれないから。(35万)
- ・20万、仕事しない人いるから
  - ・5万、全体的に議員活動でなにをしているかわからない。市全体のことを考えて活動している人もいらっしやるが、全体的にみて報酬に見合った活動をしているのか不明。
  - ・若年層の成りて創出のため
  - ・報酬アップして責任感もアップ。35万
  - ・26万が適正価格
  - ・50万渡して議員だけの仕事に専念させる
  - ・10万、この金額が嫌なら市議辞めれば良い
  - ・これからの人は立候補しやすいように
  - ・50万、議員報酬を増やすことで専業として取り組んでいただきたい
  - ・30万、この程度は必要
  - ・増やした方が良く30万円
  - ・人口に応じた定数と報酬は増額して良いと思う

## ☆議員報酬に関する意見☆(続き)

- ・報酬を上げ個人の議員活動を市民に知らせて欲しい。今議員はなにをしているかわからない
- ・物価高であり、交通費もかかるから(ガソリン代)
- ・議会と語る会で話を聴き今までの考え方が変わりました
- ・議員減としては共産党が1人であってほかはみんな本職をもっている。常に議員として活動しているのは共産党一人である。他の議員は選挙の時だけで普段は何もしていない、議会・活動の姿がみえない
- ・仕事をしていない議員がいるのでは、地域の課題はたくさんあります
- ・日当制がよい
- ・退職金や社会保障制度もなくさらには議員年金が廃止となっていて、あまりにも低すぎると思います。報酬、活動費を見直して
- ・今後も若い方が議員に進出していただくためにもこの課題について早急に確立していただきたいと思います
- ・増やした方がよい、報酬が少なく本も買えなくて勉強できなくて講習会に行けなくて図書館に行ったり本屋で立ち読みしたりしてた人を見たことがあるので、活動費が少なくて勉強会、講習会に行って他縣市議の方と随分違うなと思うので
- ・減らした人数分報酬をプラスする
- ・各議員の活動の格差がありすぎる
- ・増やした方がよいと思います。31万円
- ・増やした方がよい、報酬が少なくて生活ができるのかと思ったから
- ・何もかも値上がりしている中、議員報酬261,000円は少なすぎるのではないのでしょうか、65歳以上の議員さんは年金がありますが、まだもらっていない議員は大変じゃないかと思います。報酬は増やした方がよい。
- ・議案の審議や一般質問にも調査研究が必須です。また、報告活動にも経費と時間がかかります。議員活動そのものが政務活動だと思いますので、一定報酬ではなく、申請に基づき支払する、活動の多い議員に、それ相応の報酬が発生するのが望ましい。
- ・期末手当も増やした方がよいとおもう、副業が悪いとは思いませんが、副業なしで生活できる金額が必要だとおもう、また査定は難しいですが活躍に応じてその方にボーナス的な報酬があっても良いのでは(公表する)
- ・24万円、兼職の制限
- ・減らす→出席につき3万、人口の割には議員が多い、10名でも多い
- ・261,000円×7名で1,827,000円×12で21,924,000円(年間)経費が浮く、人口減少で活動量も減少するが条件として報酬25万は一人で二人分働いてもらう必要があり、人口約12,000人のうち65歳以上が約半分、さらに80歳以上は半分のうち約4割、さらに入院中もしくは入所中につき現実にはまともに働ける人はさらに少ない、よって議員数は減らした方がよい

## 質問6 政務活動費

- 1. 必要である
- 2. 必要ではない



### 【政務活動費とは？】

議員が地域課題解決や政策提案などを行うための調査研究費用



### ☆政務活動費に関する意見☆

- ・活動している人は必要だから
- ・議員活動には当然必要である
- ・勉強する意欲があることはいいこと、使わなければそれはそれでいいと思う。
- ・あまり議員活動していない職業議員が多い
- ・きちんと活動されている議員には必要だから、収支報告があるのでどのような活動をしたかわかるから
- ・活動自体が不透明
- ・議会での一般質問内容に、資質を問われるような内容が多く見受けられる。活動そのものが反映されてると思わない。
- ・国会議員のように地方、遠方の調査等もないため必要ない。調査等に必要な費用は別途支出すれば良い。
- ・市議会議員がどのような活動をしているか不透明であるし、そもそも活動していないと思うから
- ・垂水市の政務活動に費用が発生すると思わないため、その分通常報酬を増やしてほしい。
- ・透明性の確保に課題がある。
- ・支出がはっきりしないため、領収書をつけて、目的がはっきりした支出がわかるなら政務活動費を支給してもよいと思う。
- ・よく問題になっているのに必要か

## ☆政務活動費に関する意見☆(続き)

- ・必要な活動費は出すべき。ただ、全議員に定額支給ではなく申請があった場合の意支給。一般企業と同じように復命書または報告書を提出し、それを市民が閲覧できるようにすると「市民のためにがんばってくださって感謝」と納得いく。
- ・現在市議会不要論が全国で噴出している。単に行政の信任議会であることにその原因があると思う。議員活動が市民の代表者としての内容、議論がまずは先決。その後活動を見てから必要性を見出したい。
- ・どこまでの内容調査の、調査費、研究費が必要なのか、我々市民は具体的には分かりづらいですが、垂水市が住みやすく発展していくのであれば、それも必要に応じてあり。
- ・会派もなく各個人ごとになると思うが、どこまでが対象となるか線引きが難しく、適切に使用されると思えないから。
- ・必要な政務には出張費がでていなければならないと思う。
- ・もっと議員としてレベルアップする研修会や勉強会に参加して欲しいから
- ・より良い議員活動を求めます。
- ・必要性を住民に十分説明してからの検討事項と思います。
- ・より良い市政のために必要だと思うが、国会議員の問題で取り上げられる通り、透明性等の確保が条件だと考える
- ・透明性の高い議会活動のため不要と考える
- ・議員の方々の行動をみていると政務活動費は必要ないと感じる。
- ・まずは、地元を歩いて汗をかいてほしい
- ・政務活動費を使用する中身がわからないため。
- ・議員報酬の範囲内で活動をすべきである。
- ・報酬額をふやすのであれば必要ない。現在の報酬額のままで定数減するのであれば必要。
- ・使い方の透明性が望めない。
- ・なぜ必要なのか、使途が不透明
- ・活動する以上なにかしらのお金は必要だと思う。
- ・政務活動費を具合的に何に使うか不明であることに加え、一般質問のレベルが今程度であれば必要ないと感じる。また、収支報告書等の記載、提出が着実にされるか疑問が残る。
- ・もらうほどの仕事はしない
- ・仕事をする上で必要経費は認められるはず。ボランティアだけでは無理があります
- ・今までも政務調査費はなかったと聞く。特に必要ないと思う。
- ・政務活動費の支出が公開されれば問題ない
- ・政務活動費については議員活動をする上で必要な経費がかかってくるので公開するのであれば必要と考える

## ☆政務活動費に関する意見☆(続き)

- ・報酬が上がった中でやるのがよい
- ・政務活動費とはそもそもなんでしょう
- ・真に政務活動する議員のみ
- ・垂水市にお金がないから必要ない
- ・本当に必要な活動があれば多少は支給されてもよい。しかし支給したとすれば用途は市のウェブサイトでも細かく公開すべき。
- ・活動には費用が必要なので
- ・頑張っているのならないといけない
- ・市民のためになる活動費だから
- ・本当にその目的で使用するかわからない。活動したことがわかれば後でもらえる仕組みでもいいと思う。

### 成果報酬

- ・議員報酬でもらえばいい。必要であれば都度支給し明細書も義務付けて違反があれば罰則も必要
- ・支給して積極的に活動してほしいから
- ・もっとお金を回すべき(必要である)
- ・ある程度出さないと自腹になってしまうと思う。
- ・何にどの程度の費用がかかるかはわからないが、少なからずひつようであろうと思う。
- ・資料請求など専門的な知識を備えて欲しい
- ・垂水市のためになるならいい
- ・説明できる使用用途であれば支給しても良いと思うが、難しければ支給しない方がいいと思う。
- ・活動費20万、自腹を切ってまで調査研究させるとなると議員の成りてがなくなる恐れがあると思う
- ・必要1万円
- ・地域課題は議員とも話したい。そのためにも政務活動費は必要である。
- ・議員報酬で削減した分を充当
- ・報酬があるので全く不要
- ・必要1万5千円
- ・市民にこういう問題をふるな、そのために議員がいる、議会で議論しろー
- ・必要に応じて、領収書添付
- ・必要、3万円
- ・必要、1万5千円
- ・活動に基づいた支給
- ・必要、20万
- ・必要、1万6千円若い議員育成のため

## 質問7 市議会に対するご意見ご要望

- ・垂水市のためになる人を選んで欲しいです。
- ・垂水をよくしてください
- ・市民のため、親身になってほしい
- ・意見要望を出しているのに2年間も何も動きはなく放置されている。困っているのに何も改善されていないので。
- ・議員も高齢者が多くなり、若い世代に交代しないと今までの慣例だけで何もかわらないと思う。議会質問を議会に挙げるような内容とは思わず、もう少し政治的な質問等、勉強して欲しい。
- ・議員がどのような活動をしているのかそれぞれの議員が発信してほしい。活動がみられるのは選挙前のみ。それ以外も活動してほしい、一般質問の質やレベルをもう少しあげてほしい。
- ・若い議員の方が増えれば良いと感じます
- ・議会などを聞いてても同じ質問が多すぎて馬鹿みたいだ。また、各議員が質問の数が多すぎて議論になってない。もっと質問を減らし議論していくべきだと思う。各議員もっとどんな質問しそれに対して追及していったらもっと面白い議会になると思う。
- ・まずアンケートを作った方々にアンケートをとる意義を考えなおしていただきたい。この集約結果をもって何をしようとしているのか。質問が悪いので参考にならないと思う。人口規模に見合った議員定数とし(減らして)適正な活動に見合った報酬、活動費を支給する。
- ・もう少し頑張ってもらいたい
- ・平成25年度から28年度まで、市内8会場で垂水市議会報告会が開催されました。その時に配られた垂水市議会基本条例の第7条議会報告会によるもの。しかし、議会も市民も報告会の仕方に戸惑い、またコロナ禍等で途切れ、そのままです。これを再開して欲しいです。検討をお願いします。そして今回の議会と語る会で検討結果を報告してほしいです。
- ・本会議だけではなく委員会も中継して欲しい
- ・議員さんの活動が実際何をしているのかわからない
- ・議会がなにをしているのか知ることができる機会がたくさんあればいいと思います。
- ・垂水市を本当に良くしたいと思って活動してほしい
- ・ネット議会を見るようにしているが録画配信をもっと早く配信してほしい
- ・がんばってください
- ・私利私欲や地位に溺れることなく、市のために働いてくださる議員さんであってほしいと思います。
- ・日頃の活動に感謝しています。今後も垂水市のためにご尽力ください。
- ・あまり期待していない
- ・お体にお気をつけて頑張ってください。
- ・もっと突っ込んだ議論に期待している。
- ・物価高や人口減少など市民が安心して暮らせるように努めていただきたい

## 質問7 市議会に対するご意見ご要望(続き)

- ・市の政策に疑問が生じた場合は常日頃から所管課に赴き、情報収集を行う必要があると思うが、所管課に聞かないままに一般質問等で質問する傾向があるように感じる。また、一般質問の内容を議員自身で考えず、職員に作らせている場面を見たことがある。議員としての質を高めて欲しい。
- ・1人でも多く議員を減らして欲しい
- ・垂水市や市民のために日夜頑張ってください皆様心から感謝と敬意を表します。ただ、マンネリ化されることは市民の期待に反することですので、時々は初心に立ち戻っていただきたいです。
- ・議会は市民側に目を向けずに行政側に向けているように思われる。行政の不公平、不正を追及できていない
- ・かねてから地域をまわり多くの市民の意見を反映してほしい・議会開会中だけでなく地域のために自ら活動をし、特定の人意見だけでなく・日頃から地域住民の声を聴いていただきたい
- ・人口の減少に焦ると思いますが、安易に外国人を増やさないように。それと誰かが(市議や市長)もしおかしなことをしたらちゃんと止めるように。頼みますよ。
- ・市民から選ばれた人であるので、議員としての立ち位置、自覚を持ち、議会で市民の声を伝えていただきたい。
- ・活動が市民に見える活動をしてもらいたいです。
- ・もっと良い垂水市にしてください
- ・YouTubeで見られるのがありがたい。もっと宣伝すべき、例えば垂水市のlineであれば議会が行われますなどの告知。YouTube、音声が悪く、聞こえづらいので、マイクの改良を求む。
- ・通年議会を進めて欲しい。
- ・何が望めるのかわからない。個人での癒着が多い中で、その関係をもたない人の小さな意見は届かない。
- ・選挙の時だけ頭を下げる
- ・ノン癖が悪い。
- ・通年議会の開始とアーカイブの早期アップ
- ・もっと身近な活動がみえたらよいかとおもいます。
- ・支持者だけでなく全有権者を議員がそれぞれ訪問してそれなりの意見に耳を傾けてみるのも一計。
- ・通年議会をやったほうがいい
- ・対立なく、垂水市のために、尽力してほしいです。
- ・活動報告など生の声で伝える機会を作ってほしい
  - ・出身議員とは日常では接する機会がなく身近とは言い難い。一部市民の要望を聞かれている方もおられるように感じる
- ・気さくで人柄のいいひとがおおい。いい傾向である

## 質問7 市議会に対するご意見ご要望(続き)

- ・議員の方と話をする機会があまりないので今のところわからない
- ・全く身近に感じていません。訪問されるのは選挙の直前だけです。一般家庭にもきていただき困り事聞いて欲しいです。世間話でもいいです。親近感が湧くと思います。協和地区で現在相談できる議員が見当たりません。何か困ったときに頼りになる身近に感じる方が欲しいです
- ・議員を身近に感じない。若い議員を増やし地域の意見を聞いて欲しい。
- ・できれば地域の話聴く30代の議員が必要では
- ・議員さんが誰かわからない
- ・何の仕事をしているかわからない
- ・気がついたことがあれば話しやすい議員に相談している
- ・身近に感じません。できれば市民の意見をなんでも伝えられる手段をアピールして欲しいです。全ての議員さんにどのように伝えていいかわからない。市長は市役所入り口に投書箱があるから分かりますが
- ・行動力もなく議員には嘘つきも多いです
- ・議員さんは身近に感じるし活動もしっかりしておられると思います。満足です。ご苦勞様
- ・ガソリン代、住民の意見気持ちきいてみて
- ・何をしているかわからない、がんばってください、住民のために
- ・牛根は議員がいないのでわからない、議員との会話はなし
- ・身近に感じている、満足しています、地域のためにがんばって
- ・身近に感じている、議会内容をYouTube配信等で拝見するようになり各課の見解や議員の活動についても理解できるようになった。語る会について対面で話ができて有意義な時間でした。
- ・現在牛根地区には議員の方がいらっしゃいません。議員の間で担当地区を決めて担当地区の意見をもっと吸い上げて頂きたい。このままでは牛根地区はさびれる一方です。
- ・定数少なくした方がいいのかなと思って聞きに来たけどデメリットを聞くとそのままでもよいのかなとも思ったり、人口を考えると減らした方がよいとも思うので難しいと思ったりでした
- ・他市町村の合併を感じている、たまに友達、知人等と仲良く話をする
- ・ほとんどの人が近い将来に合併になるだろうと認識しているが議会はどう?
- ・活動量などの公表、(新設後に)、地域住民との座談会など
- ・あと2名ほど女性議員が増えてもいいのでは
- ・議員の活動が見えない
- ・議員の顔がみえない、何をしているのかわからない
- ・活動の結果が実績があがっているか
- ・市民ファーストが疑問
- ・議員の資質が大きくないか

## 質問7 市議会に対するご意見ご要望(続き)

- ・公民館活動に口を出し過ぎる
  - ・内容がわかってきました。また機会を作ってください。
  - ・牛根は議員不在なのでせめて牛根地区全体で一人は必要かなとおもいます。議員年数が長期の方はそろそろ世代交代を考えて若者に譲りませんか。若い力で活気あふれる垂水市を期待します。
  - ・実際議員さんたちは垂水市民のために活動しているように見えない
  - ・議員活動も身近に感じられない、議会がマンネリ化していないか、形だけの議会になっていないか、垂水が明るく住みやすい町になるように新しい発想を出しあい議員の方々頑張ってくださいに期待します
  - ・女性議員が時々地区学校の行事等に参加されてよく活動されていると思います。
  - ・議員が個人の意見ではなく、市民の意見が取り入れられるよう政務活動費をだして、市民の意見を取り入れてもらいたい。
  - ・どんな活動をしているのか全くみえない。
  - ・日頃から地域内を回ったり、行事の時にも参加して、耳を傾けてくださるような議員を育てて欲しい。
  - ・議員の方々には当選されて住民の方々に会いに行かれますか。誰一人来られませんよ、それどころか頭も下げられない人がいらっしゃいますよ、住民のための議員ですよね。市民の側に立った仕事をしてほしい。たとえばロータリーの花畑は金がいくらかかっていますか。花畑が必要ですか。議員の方々には必要だと思われませんか。
  - ・市民を移住させる対策
  - ・議員数の削減に伴い、誰にどのように問題を頼めばいいかわからないので、議員への要望箱等を設置していただき、振興会単位以上の問題等を調査し提議していただくようにできないか(調査提議できない事案についてはその旨報告もしていただく)
- また、目先の問題提議のほかに10年後、20年後の在り方を見据えた議論もお願いしたい
- 一生懸命活動している議員もいらっしゃるが、中には、しているかどうかという方もいる
- 地域のためがんばっていただきたいが地域を二分するような活動を感じる
- ・年数だけで、活動されている方とされていない議員さん、両極端
  - ・振興会活動に参加を、市長選挙に市議の同行はおかしい、議員としての役割、仕事の見直し、中立公正を
  - ・一部有力者の市政への介入により各選挙や市政の発展に弊害が生じる
  - ・名前だけの議員さんがいるようにききます
  - ・積極的な方と両極端みたいな話をききます

## 質問7 市議会に対するご意見ご要望(続き)

- ・議員さんが市民に嘘をつく、こいう議員は必要ない
- ・議員として失格
- ・孫にインターネットを見せてもらいました、議員のレベルに疑問
- ・議員の中には活動をしていない人が多い
- ・選挙のときだけ頭を下げて当選したら横をむいている議員が多い
- ・垂水市の議員さんは政務活動費を必要とするような活動が見られない。会社勤めの人は毎日働いて議員報酬の額をもらっているが議員の方は毎日議員のしごとをしているわけではないので、十分なのではないのでしょうか。それとタブレットを使用できない議員の方は、新しい人に譲った方が良いのでは。
- ・立候補するに当たり、まず筆記試験を第一次試験として国語(読み書き、熟語、読解力、文章力、類語、とその意味の違い使い方、ことわざの意味とその違い等)で7割、経済用語、政治用語等で3割、全体の70%正解で、一応合格とし、スピーチコンテストを二次試験とする。そのうえで選挙を実施する
- ・がんばっておられる議員さんはおられますが、対価報酬に当たりする仕事をされているのかも疑問に思う方もいらっしゃると思います。年齢制限も考えてもらいたいと思います。凝り固まった考えでは何も発展はないのでは。
- ・議員としてやることはいっぱいあります。
- ・議員のみなさん、活動頑張ってください。
- ・長期の病気とか入院とか、長すぎる病欠は色々規程はないのですか
- ・垂水の魅力、花と温泉、渓谷、温泉施設の見通し、観光にもう少し力を入れるべき、飲む温泉が多いですが宿泊客の入湯税一人150円徴収されますね、飲む温泉水市内たくさんの業者いる中でいくら払っているか教えて欲しい。

## 結び

市民アンケートでいただいた多くの意見、そして語る会での率直な議論を通じて、今後の議会のあり方について一つの方向性が見えてまいりました。

その内容については、3月議会において、梅木委員長より中間報告が行われ

『議員定数2名減』『報酬の引き上げ』『政務活動費の必要性』が示されました。

また、3月30日には報酬審議会への諮問を市長に、お願いしたところであり、検討が進められていきます。これからも、市民の皆様の声に真摯に向き合い、信頼される議会づくりに努めてまいります。多くのご意見、誠にありがとうございました。

議員一同

# 議員定数等調査特別委員会 取組の経過

区分	開催日	主な協議事項
	令和7年6月20日	議員定数等調査特別委員会 設置
第1回	7月9日	目的とスケジュール共有
第2回	8月19日	他地方議会の状況を調査分析
第3回	9月30日	議員定数、議員報酬、政務活動費について各委員の意見を集約
第4回	10月17日	現状を踏まえ専門家から意見聴取 (自治体議会研究所 代表 高沖秀宣 氏)
第5回	10月30日	方向性のとりまとめ及び市民の声を聴く取組の協議
第6回	11月17日	議会と語る会（市民の声を聴く取組）の日程やアンケート調査について協議
第7回	12月9日	議会と語る会の開催案内やアンケートの内容確認
	12月16日	議員定数等に関するアンケート調査【開始】
第8回	12月18日	議会と語る会で配布する資料について協議
	令和8年1月12日	議会と語る会開催 市内6か所（7回開催）延べ55人
	～1月18日	
第9回	令和8年1月23日	議会と語る会での市民の反応や意見について総括
	1月31日	議員定数等に関するアンケート調査【締切】
第10回	3月9日	アンケート結果の報告 議員定数等調査特別委員会としての方向性を採決 ・議員定数 2名減 ・議員報酬 引き上げ ・政務活動費 必要
	3月16日	本会議にて委員長が中間報告